

実盛

SANEMORI

廣田 幸稔

Hirota

Yukitoshi

面 三光尉 / 金剛家蔵



狂言

仏師 茂山 千三郎

ごあんない 浜畑 圭吾

平成27年 10月4日(日) 13:30 始曲(開場12:30)

第25回 廣田鑑賞会 能

料金 / [一般] 8,000円(正面・脇正席) 5,000円(中正席) [会員] 7,500円 [学生] 2,500円

※東日本大震災で被災された方をご招待します。FAXまたはHPよりお申し込みください

◆ 主催 / 廣田鑑賞会 ◆ 指導 / 宗家 金剛永謹 ◆ 後援 / 金剛会・京都新聞社



会場 / 金剛能楽堂

TEL.075-441-7222

京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町5901

第二十五回廣田鑑賞会能

平成二十七年十月四日(日) 午後一時半始曲

ご挨拶

盛夏の候、平素は当鑑賞会に、格別のお引き立てをいただき、誠にありがとうございます。
能では「頼政」「実盛」「朝長」を「三修羅」と申します。第二十五回は大曲「実盛」を演じさせていただきます。敗戦の色濃い平家方に身を置きながら、はからずも、かつて命を救った木曾義仲と対陣することとなった齋藤別当実盛の、複雑な心境が胸をうちます。西国に逃れた平家一族、ただ一騎戦場に残った実盛、平維盛を破って篠原の戦いで勝者となった木曾義仲。登場人物のすべてが悲劇的な結末を迎えますが、能「実盛」はその歴史の場面を舞台のうえに再現します。

初秋の一日を、京都、金剛能楽堂でお過ごしいただければと存じます。みなさまのご高覧を心よりお待ちしております。

平成二十七年葉月吉日 廣田鑑賞会 廣田幸稔

◆番組

◎午後一時半始曲

仕舞 龍田 廣田明幸
切

惣明 貞助
宇高 徳成
豊嶋 晃嗣
山田 夏樹

狂言 仏師 茂山千三郎 丸石やすし

後見 増田 浩紀

ごあんない

浜畑 圭吾

― 休憩 ― 二十分

能 廣田 幸稔 原 大
実盛 高安 勝久 河村 大
久馬 治彦 林 吉兵衛 井上 敬介
森田 保美

和田 次夫 金剛 龍謹
宇高 徳成 今井 清隆
今井 克紀 松野 恭憲
豊嶋 晃嗣 種田 道一

間 茂山 千三郎

豊嶋 幸洋
金剛 永謹
宇高 竜成

和田 次夫 金剛 龍謹
宇高 徳成 今井 清隆
今井 克紀 松野 恭憲
豊嶋 晃嗣 種田 道一

◎午後四時半過ぎ終了予定
都合により内容を一部変更する場合がございます。

狂言 「仏師(ぶっし)」

都会の詐欺師が田舎ものをだまそうとしたものの、結局見破られてしまうというお話です。信心深い男が持仏堂を建てたものの、田舎のことで仏師がおりません。そこで都の仏師を呼んで来ようと思いきや、男は都大路を大声をあげながら仏師を探します。たちまち、すっぱ(詐欺師)が男に近づき、言葉巧みに男をだまして仏師になりすまし、仏の種類や出来上りの期日などの交渉をはじめます。等身大の仏を作ることで話をまとめ、まんまと、すっぱ自身が仏に扮したものの、男からは、どうも印相の形が気ならないと手直しを求められます。印相をなおすことに、仏像と仏師の二人二役を入れ替わるのですが、とうとう最後は正体を見破られてしまいました。

能 「実盛(さねもり)」

諸国を遊行する他阿弥上人が加賀国篠原(石川県加賀市)あたりで説法を行っている、人々のなかに連日姿をみせる老人がいます。しかしどうやら、その姿は上人にしか見えていないようです。上人が名を尋ねますが、老人は容易に明かさずとほしません。上人が人を遠ざけることで、老人はようやく、この篠原で源平の合戦があったこと、齋藤別当実盛が討死し、敵将木曾義仲の面前で首改めがあり、近くにあって池の水で首を洗ったこと、篠原の合戦から二百余年を経た今でも実盛が成仏できずにいることなどを語ります。実は自分はその実盛の霊であると告げて、池のあたりで姿を消します。(中入り)上人が実盛の霊を弔つていると、赤地錦の直垂に萌黄緋の鏡姿の実盛の霊が現れ、上人が唱える仏の名を聞くうちに永く苦界を彷徨ついていた身が無量寿仏となる喜びを感謝し、篠原合戦で白髪を黒く染めて出陣したこと、敗戦のち平維盛以下すべての武將が西国に逃れていったことも、騎留まつて奮戦し、手塚太郎光盛と堂々と組しながらも、その手にかかつて討死したことなどを語り、最後は上人に回向を頼んで消えていきます。

前シテ/老翁 後シテ/実盛の霊
ワキ/他阿弥上人 ワキツレ/從僧
アイ/里人

当日配布冊子 解説

高野山大学助教 浜畑 圭吾
大阪大学准教授 中尾 薫
元甲南大学文学部教授 西條 隆雄
水谷 弓

廣田幸稔 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテ方
先代および当代宗家・
金剛永謹と父陸一に師事
重要無形文化財保持
能楽協合理事 金剛会理事
京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

廣田明幸 (ひろた はるゆき)

2008年生
祖父は廣田幸稔



※当日解説付番組あります。

〈次回公演予定〉第26回 廣田鑑賞会能 平成28年5月8日(日) 午後1時30分始曲 能「隅田川」廣田幸稔 狂言 解説
第27回 廣田鑑賞会能 平成28年10月2日(日) 午後1時30分始曲 能「三井寺」廣田幸稔 狂言 解説
ホームページ URL <http://hirota-kansyokai.la.coocan.jp> 右のQRコードで携帯からもアクセスできます。



FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 075-722-9123 までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第25回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■ お名前

■ ご住所

■ お電話・FAX

一般券 (8,000円/正面・脇正面席) 枚 学生券
 一般券 (5,000円/中正面席) 枚 (2,500円/学生席) 枚

会員入会(第25回、第26回 年2回公演分正・脇席) 会員7,500円(年会費 15,000円) 第25回のみ ※ □内にチェックして下さい

チケット取扱所

●ローソンチケット(Lコード 51978) ●金剛能楽堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター ●檜書店
●KENSYOインターネットチケットサービス <http://www.nohkyogen.jp/>(PC) <http://nohkyogen.jp/mobile>(携帯)
●セクターエイティエイト 06-6353-8988 ●廣田鑑賞会 075-722-9123